

課題解決の方向性（案）について

課題解決の方向性（案） 1：山上へのアクセス改善

二次交通手段の検討

自動車又は徒歩以外に、屋島山麓から山上までの新たな移動手段を検討、実現することで、来訪者の交通手段の多様化、分散等による交通渋滞の緩和を図ります。

公共交通の利便性の向上

定期シャトルバスの利用促進に向けて、鉄道との接続性やバス停の利便性など、公共交通ネットワークの充実を図り、来訪者の公共交通への利用転換を促します。

駐車場の混雑対策

山上駐車場の混雑緩和に向けて、情報発信や運用面での対策などを講じて、来訪者の行動変容を促し、公共交通と連動した快適な移動環境の実現を図ります。

課題解決の方向性（案） 2：受入環境の改善

ハード面の改善

高齢者や障がいのある方が安心して利用できる歩道や施設のバリアフリー化の推進等、インフラ整備・施設整備を図ります。

ソフト面の改善

観光案内やパンフレットの多言語対応や観光ガイドの育成・ホスピタリティの強化、観光マナー啓発等を通じ、誰もが快適に楽しめる受入環境を整えます。また、地域住民と連携・協働し、観光需要をより良い地域づくりに活かすための体制づくりに取り組みます。

課題解決の方向性（案） 3：魅力磨き上げ・発信

屋島の魅力の磨き上げ

屋島の潜在的な価値を発掘し、魅力にさらに磨きをかけることで、ブランド価値の向上や市民にとっての誇りとなることを目指します。

多様な体験を通じた滞在時間・滞在価値の向上

夜景・夕景等、これまで活用されてこなかった屋島の観光資源を活かすことで、質の高い観光地として、滞在時間・滞在価値の向上を図ります。

情報発信・PRの強化

ターゲットに応じたPR戦略を強化することで、市民には愛着を、屋島を訪れたことがない人には認知度向上と来訪意欲を高める情報発信を推進します。

廃屋の撤去

市の空家対策等と連携し、地域の理解を得ながら、合意形成を図り、廃屋の撤去に向けた取組を推進します。

廃屋及び跡地の活用可能性検討

南嶺東側エリアの有効活用を含めて、市民や民間事業者等と連携し、廃屋（跡地）の利活用を検討します。また、山上駅跡については、周辺環境との調和を図りながら活用の可能性を検討します。

課題解決の方向性（案） 5：北嶺の利活用

自然環境を活かしたコンテンツの提供

北嶺の自然環境の保全を図りつつ、ジオツーリズムや自然環境教育等、北嶺の特色を活かしたコンテンツの開発・提供を図ります。

南嶺からのアクセス強化

環境負荷の少ない二次交通の導入検討や既存の登山道や散策路の改善等を通じて、屋島の南嶺と北嶺のアクセス強化を図ります。

北嶺の認知度向上

これまで積極的に周知されてこなかった北嶺の持つ魅力に焦点を当てた情報発信の強化を図り、北嶺の認知度向上と屋島全体の魅力向上に繋がめます。